

(参考様式4)

事業所名 第2グループホームふるさと

目標達成計画

作成日： 令和 5年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	36	コロナ禍であり外出する回数が減少しているが、出来る限り天候や利用者の要望をお聞きしながら、日常的に外出したい	・認知症の進行予防にもなり、戸外へ外出する事で気分転換でき、ストレスの軽減に繋げる事ができる	①コロナ対策を十分考慮した上で、利用者の出身地へ出掛ける、ふるさとドライブを定期的に行っていく ②桜、菜の花、コスモス等、咲いている場所へ出掛け季節を感じて頂く	6ヶ月
2	17	自立支援に向けて取り組み行いたい	・自立支援の取り組み 自立支援研修会へ参加し、取り組み方の知識や技術の向上へ繋がり、利用者、個々の状態、状況に合わせた自立支援介護計画(水分、排泄、歩行、栄養)が実施出来る	①水分摂取量の把握、目標摂取量の設定を行う。クリア出来るよう嗜好に合わせた飲み物の提供を行い、QOLの向上を図る。 ②歩行訓練について目標距離数を設定し状態に合わせて実施していく。又、トルトを使用し歩行状態を確認しリスク軽減を図る ③自然排便を促せるように腸内環境を整え、便秘予防に努める	12ヶ月
3	2	コロナ禍で地域との関りが少なくなっているが、出来る限り地域へ出掛けたい	・地域との繋がり 外出の機会を増やし、リモート等も利用して、馴染みの方や地域との交流が図れる様に計画・実行する事で、地域との繋がりを保つ事が出来る	①瀬川保育園とのリモート等にて園児との交流を図る ②G-BAR-bag作成後、地元商店へ届け、使用して頂く ③感染対策を十分行った上で地域行事への参加	12ヶ月
4	25	有事の際でも事業継続できるように対策を強化したい	・災害対策の充実 災害時に適切な対応が全職員共通し出来る様になる。又、有事の際、近隣の方へ協力して頂ける体制になる	①災害BCP更新、周知避難訓練、発電機使用訓練を定期的実施していく ②地震、風水害の対策、対応訓練(書面上も含む)を実施していく ③地域と連携した、応援体制の指針を作成し協力依頼していく	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

